

通信かがやき



令和5年度 第2号

令和5年5月12日

太田小学校発達障害・情緒障害通級指導教室「かがやき」

清水の 阪登り行く 日傘かな 正岡子規



ゴールデンウィークを利用して、わたしは京都・清水寺を訪れました。コロナ対策の制限も緩和され、多くの人出でした。

5月、木々の緑が目にもぶしい季節。日傘に替わり、校庭には運動会の練習をしている2年生の傘が花開いています。

さて、新学年となり一か月、子ども達も新しいクラスになじんだことと思います。「かがやき」の授業も第二週に入り、個別の指導計画(通級)の作成が終わったところです。

「個別の教育支援計画」「個別の指導計画(通常級)」作成のお願い

特別支援学級に在籍する児童や通級による指導を受ける「全児童」について、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、活用することが義務付けられています。

さいたま市では、指導が4月から開始される「かがやき」や「ことばの教室」の児童、特別支援学級の児童について、5月末日までに「個別の教育支援計画」「個別の指導計画(通常級と通級指導教室用)」を教育委員会に提出します。保護者の方と担任とが面談して作成することを原則としています。

担任の先生は、保護者の方と相談しながら作成をお願いします。どのような「長期目標」「短期目標」をもって指導をするのか受けるのか、家庭での支援はどうするか、どのような合理的配慮が必要か児童の「教育的ニーズ」にそって相談をお願いします。

前号で、お伝えしたように「**子どもの実態を共通理解すること**」から学校での指導はスタートします。面談の折、保護者の方は、担任の先生にできるだけ詳しく成育歴や療育歴、関係機関の支援についてお知らせください。なお、「潤いファイル」をお持ちでない方は、担任の先生にお申し出ください。学校からお配りします。

なお、本来は、「個別の教育支援計画」の見直しは、保護者と担任が行うところですが、現在「かがやき」に通級している太田小児童については、「かがやき」担当の坂本が、担任に替わり面談することもありますのでご了承ください。

裏面の特集は、「子どもが安心する学習ルールづくり」です。こちらもお読みください。

○ 子どもが安心する 学習ルールづくりとわかる授業

通級に通うお子さんが他の級友とともに集中して学習できている授業を見ることがあります。その授業を行った担当の先生に授業のコツを尋ねますと、学年初めに学習ルールをしっかり守ることを子どもたちに習慣化させる、という返答でした。通級に通うお子さんが他の級友とともに落ち着いて取り組める学習環境を作り出す第一歩は、子どもたちに学習ルールを守って授業に参加することを習慣化させることです。そして、次のコツは「わかる授業」です。

(1) 課題のある授業

課題を伝える的確な言葉 タイミングよく、理由と見通しを示す

課題とは、子どもたちが、ぼく(わたし)は、これをすればいいんだと分かる活動の最小単位
子どもをほめるには、「何」に対してほめるのかをはっきりさせておく。

例・「挙手して指名されたら発言する」「始業チャイムが鳴ると同時に着席する。」

↓

できたらその場でほめることで、望ましい行動が形成される

(2) 手だてのある授業

理解を助ける手立て → 実物を示す 漢字にルビを振る。

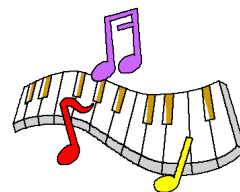
集中力を持続する手立て → 声かけ 課題の提示

ひきつける手立て → 技法と手順を示す 考えたり表現したりするときの観点を示す
きっかけになる言葉や図を提示する。

教わったことは、使う機会がないと定着しない。

子どもができるようになるまで何度も教えていく。

例・「楽器伴奏」 指 1. 2. 3. 4. 5 記入した楽譜 ファ4 → ソ5へ



(3) 形式のある授業

「形式」のある授業は、子どもに安心感を与え、目標に向けて頑張る力をつける。

「見通し」と「向かう先」のある授業 一年を通して営まれる学級経営

○学習の流れを伝える。 ⇒

○向かう先に報酬がある。

 がんばりカードにスタンプ

 宿題なし券

 先生と給食を食べる券

○前もって見通しを示す

 「一日の見通し」「一週間の見通し」「一学期間の見通し」「一年間の見通し」

 学校行事を「向かう先」として活用する学級経営 例・運動会 卒業式

子どもたちは、明確な「ルール」や「形式」があるほうが安心して過ごせます。このことは、家庭での生活や学習にも役立つポイントですね。

例・理科 てこの実験

1 めあてを書く

2 自分でつりあう場所を見つける

3 分かったことを班で話し合う

 きまりを見つける

4 全体で話し合う

5 まとめる